

令和2年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	防犯カメラ新規設置事業
事業実施前の状況	一部死角になり不安全、及び、犯罪者の逃走経路となるのではとの指摘及び、要望有り。
事業実施後の状況	犯罪者の逃走経路の減少及び、設置していると言うだけで、犯罪件数の減少、並びに犯罪者の早期逮捕につながる情報が集まりやすくなった。
事業の効果	設置個所が増えたことによる犯罪抑止効果ありと判断します。
今後の課題等	現状を継続しつつ、人任せの安全対策ではなく、自らの防犯意識向上を促し、各家庭への防犯装置の充実（支援/援助）を図り、防犯設備の設置等、見張り役の増強の見直し検討が必要であると考えます。又、設置場所として、高層ビル/マンション屋上、設置機材として、防犯カメラ/車載カメラ/ドローン、緊急連絡手段として、放送設備等の在り方についても今後の対応検討課題とする。

令和2年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	一部死角になり不安全、及び、犯罪者の逃走経路となるのではとの指摘及び、要望有り。
事業実施後の状況	設置個所も増え、安全で安心な暮らしが出来る。又、第三の目（者）による長期休暇（夏休み/大型連休）期間中の見守りが可能となる為、継続とする。
事業の効果	設置個所が増えたことによる抑止効果ありと判断します。
今後の課題等	リースのような、安価な設投で、管理費の低減を図る。 又、家庭用防犯装置費用支援/援助策を提案し、各家庭への防犯装置設置希望者を募り、自らの防犯意識向上を促進させ、地域一丸となった防犯対策を実施する。

2020年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
 会長名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域内会館備品整備会事業
事業実施前の状況	井口堂北会館の会議室の長机、椅子を前年度に新調購入するも数量が不足のため、再申請した。 現在使用中のスリッパが古く汚れ、黒住して利用者が各々持参している状況であり、利便性を図りたい。
事業実施後の状況	長机は表面は白く、椅子は明るい色合いで軽く、利用者からも好評である。 スリッパも明るい色合いで利用者からも好評を得られる。
事業の効果	長机、椅子とも軽く、利用する高齢者も出し入れがスムーズに出来ている。 スリッパ買換え後、会館が10月からエレベーター設置工事で閉館されており再会館が待ちどろしい。
今後の課題	利用者が共同利用の意識を再認識を徹底し、下駄箱の清掃を促し、作り替え等考えたい。

以上

様式第4号

2020年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域内会館備品整備会事業
事業実施前の状況	秦野会館は、利用者に高齢者が多く、古くて重く、色合いも暗い、机等の備品の格納等に利便性を図りたい。
事業実施後の状況	利用者からの要望に合致した備品が配置されて好評である。
事業の効果	利用する高齢者も出し入れ等がスムーズに出来て、参集する会議が増えている。
今後の課題	会議等のリーダーに共同備品であることを利用者に意識、認識を周知徹底を図る。

以上

令和2年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者 松井 好一朗



記

事業の名称	コミュニティ倉庫設置事業
事業実施前の状況	石橋地域コミュニティ推進協議会の倉庫が手狭になって来た。
事業実施後の状況	本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、各種イベント等の事業を中止並びに、延期する旨の行政指示に従い、中止せざるを得ませんでした。
事業の効果	地域コミュニティ推進協議会の必要資材置き場が手狭になり、増やす必要があるため。
今後の課題等	必要な資材置き場を確保することが重要になって参りました。

令和2年 5月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 松井 好一郎

記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	石橋2丁目に設置していた掲示板を撤去
事業実施後の状況	石橋2丁目に設置していた掲示板を旭丘1丁目 花園会館の表に設置
事業の効果	掲示板事態、使用可能であり 旭丘1丁目に石橋地域コミュニティ推進協議会の掲示板が少ないため 有効活用が出来ました。
今後の課題等	令和2年度掲示板補修事業あるため、修理が必要な場合対処予定

令和 2 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域行事等活動促進事業 (納涼大会)
事業実施前の状況	地域住民への参加をチラシ等でPRし、世代交流を通じて安心、安全な地域づくりをめざす納涼大会でありたい。
事業実施後の状況	本年も盛大に行なえた。仕事負担も円滑に進み、大きい事故もなく終了。中学生の後片づけ参加は住民にとって大変ありがたいとの声が多く寄せられた。
事業の効果	各団体のつながりが深められ、他行事においても参加住民の増加は良かった。
今後の問題点	納涼大会で使用する備品の老朽化が多く見られる。次年も備品の充実とよりよい運営を更に話し合う。

<様式4号>

2020年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	防犯灯強化事業
事業実施前の状況	石橋公園内防犯灯5ヶ所公園内全体ムラが合った。
事業実施後の状況	公園内2ヶ所設置
事業の効果	公園内全体にムラが無くなり使用者も安心して使えるようになった。
今後の課題等	今までに設置している防犯灯に汚れ(蜘蛛の巣,枯れ葉,埃)等あり明かりが阻害されている。3年、4年に1回清掃をお願いします。

〈様式4 号〉

令和 2 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者 松井 好一朗



記

事業の名称	記念碑公園整備事業
事業実施前の状況	1) 記念碑公園の周囲石積が1部損壊 2) 不安定になった交通標識を移動する 3) 住民が休憩できるベンチを置く
事業実施後の状況	公園周囲の石積整備出来た。 交通標識移動して再設置出来た。 休息出来るベンチ 1基設置出来た。
事業の効果	石積の整備により土砂の流出が防止出来た。 5ヶ所の公園入口付近整備する事が出来た。 標識の移動により公園内の動線がスムーズになった。 ベンチを 1基設置する事により、複数のグループが休息出来るようになり、公園を利用する人数が増加した。
今後の課題等	公園内に掲示板を設置していますが、古すぎるので取替も考慮対象

様式第4号

2020年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

会長名 松井 好一朗



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業（市民運動会）
事業実施前の状況	当事業も地域住民も市民運動会として毎年10月第2日曜日に開催されることが浸透しているがさらに幅広く参加を呼びかけたい。
事業実施後の状況	参加人数は例年と変わらず大盛況で大きな事故もなく終えることが出来た。
事業の効果	石橋校区スポーツ振興会を中心に各団体間の連携がスムーズになり、協働する参加者が年々増加し、各人間の繋がりも太くなった。
今後の課題	スポーツ推進委員の存在、活用方法をより以上図る必要がある。

以上

令和2年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井好一朗



記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	コミュニティ各部会が行う事業内容を住民に周知することでコミュニティの存在と役割を知ってもらう事業。
事業実施後の状況	年間2回のコミュニティ紙の発行事業で、旭丘、井口堂及び石橋における活動内容と地域性を広く伝達できた。 また、コミュニティホームページを活用し、地域の現状、コミュニティ推進協議会の活動内容等を伝達することもできた。
事業の効果	地域に必要なニュース、学校と地域のつながり、地域の行事、石橋コミュニティ推進協議会の活動内容を広く周知することが出来た。
今後の課題等	地域コミュニティの事業には継続型が多く、報告の記事が多くなりやすい。そのため話題性のある自然災害時の対応、敬老の里プロジェクト、地域分権の見直し、新型コロナウイルス、等の記事も扱いたい。

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一 

記

事業の名称	避難行動要支援者対策事業 ①
事業実施前の状況	既存の地区委員や団体会員による、身近な高齢者等要支援者への声掛けやフォローを行っていた
事業実施後の状況	池田市危機管理課に提供された避難行動要支援者情報提供に同意された方に対し、年3回の訪問をし安否確認を行い、現状況などをお聞きした。
事業の効果	提供された要支援者の状況は、訪問の度に個別避難計画に記入している。定期的に報告会を設け、確認員相互で要支援者の状況をシェアし、より密に地域の要支援者を見守ることができている。
今後の問題点	確認員の担当人数は多く、これからも要支援者が増加することも考え、確認員の負担増が見込まれる。対象が高齢者であることも多く訪問にかかる時間も長くなることもある。確認員の増員が、直近の課題となる。

令和元 年 6 月 30 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好 一 朗



記

事業の名称	避難行動要支援者対策事業②
事業実施前の状況	要支援者宅訪問時、書類、筆記用具、地図など、袋の中が混在し、訪問作業が効率的にいかなかった。
事業実施後の状況	要支援者訪問時、書類の整理ができ、訪問しやすくなった。聞とメモなどバイダーが役立っている。
事業の効果	訪問に効率上がり、支援者、要支援者との話の聞けたり、相談を受けたり余裕が生まれている。
今後の問題点	支援する側のなり手不足への対応。

令和 2 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域防災体制強化事業（避難訓練/防災備品整備）
事業実施前の状況	緊急時に誰が何をどうするべきなのか知識及び経験が不足している。
事業実施後の状況	組織網の整備及び、緊急時の対応（訓練ではあるが）体験及び各種知識の向上が図れた。
事業の効果	地域住民、学校、施設他及び行政の協力の基、連携を取りながら訓練が出来た。 今回は特に学校の教職員様のご理解及びご協力に感謝いたします。 参加者各自の経験となり記憶の片隅にでも残れば、いざという時の助けになると期待します。
今後の課題等	各種の災害及び時間帯に即対応出来るか、訓練内容（夜間含め）を変えつつ継続実施する。学校の設備に頼らず、公園等にて何も無い場所で一から炊き出し等が可能かやってみる価値あり。又、傷の手当他、身近にある品物を応用し、簡単に出来る方法等も織り込んでの実施としたい。又、今回のようなウィルス等による緊急事態宣言発令時に対応できる体制（装備含め）を検討する必要性を痛感する。

令和2年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域防災体制強化事業（研修会；福知山市防災センター見学）
事業実施前の状況	自然の力/恐怖/何が出来る/日頃からの準備等知識及び経験が不足している。
事業実施後の状況	見て/知って/感じて、各自とらえ方は異なると思うが、自然のすごさ/脅威を感じ、日頃の心構えが少しは変化したと思える又、自ら経験体験することにより、多少なりとも何らかの自身が付いた。
事業の効果	普段経験できないことを、各施設を利用させていただきながら、参加者の経験知識向上を図り、地域住民もご参加いただき、今回の趣旨は達成したと判断します。 また、参加者各自の経験となり記憶の片隅にでも残れば、いざという時の助けになり、教えられる（伝授する）第一歩になることを期待する。
今後の課題等	現在住んでいる環境（状況）に応じた、対応体験が急務と考える。 ・土砂災害への対応他 それには、各地域にある施設を見学し、疑似体験を多く積み重ね、豊富な経験として記憶し、いざという時に役立たせる。又、地域住民により多くのご参加を頂ける様、創意工夫を行政へ提案し、且つ、緊急時への対応が即座に出来る様に、日々準備検討を心がける。 尚、今回の様なウィルスによる緊急事態宣言発令時の各関係者間の連携対応（装備/備品含め）について再考を要する。

令和 2 年 3 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	コピー印刷機設置以前は各団体が各自でコピー機でコピーをとっていたのでかなりの費用と時間を取っていた
事業実施後の状況	コピー印刷機設置後は各団体の会館において、4用2、2用2等印刷出来る様になった。
事業の効果	費用、時間ともに短縮軽減出来各団体及び地域住民に多くに利益をもたらした。 特に枚数が多い場合等地人に迷惑をかける事に抑えられている。
今後の問題点	会館にエレベーターが設置された事により、コピー印刷機の設置場所が高くなり、石橋地域コミュニティの拠点作りが急かされる。

令和 2 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好 一 朗



記

事業の名称	リサイクル活動
事業実施前の状況	キャップ回収容器設置場所増加、回収量増を めざす。省エネに容器の交換。
事業実施後の状況	設置場所の協力によって回収作業が年々ほかじって いる。
事業の効果	井中堂北会館工事にもかかわらず、回収量増加に つながったのは地域住民意識が上がっていると感じられる。
今後の問題点	多様なキャップリサイクル品製作の提案 (持続可能な事業)

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域美化整備事業 ①
事業の実施前の状況	A4サイズのチラシで、地域の美化に関する呼びかけをしていた。
事業実施後の状況	サイズの大きなアクリル板を製作し、地域の12か所に設置した。
事業の効果	以前のは、劣化が早くなかなか地域の方に周知ができていなかったが、今回アクリル板にして、見やすく丈夫なものになり、一層の地域美化への呼びかけができた。
今後の課題等	大きなものになったので、しっかりと設置し、風などの影響が出ていないかを定期的に見守る必要がある。

令和2年 3月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域美化整備事業 ②
事業の実施前の状況	「美しい街づくり」の呼びかけで、宅地周辺の雑草除去をお願いするチラシをつくる
事業実施後の状況	引き続き、雑草除去のお願いをチラシ配布し、呼びかけた。
事業の効果	まずは配布した各戸の雑草を抜いてもらうことで、個々にできる「美しい街づくり」をしていける
今後の課題等	まだまだ協力してもらえていない場所もたくさんあり、今後も呼びかけていかなければならない。

令和2年 3月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域美化整備事業 ③
事業の実施前の状況	花や緑にあふれた「美しい街づくり」を目指し、各所にプランターの花を贈呈した
事業実施後の状況	引き続き、この事業でプランターの花を贈呈した
事業の効果	保育所、学校、各施設に贈呈し、街に花が増えた。
今後の課題等	各所に置いていただいている花も、水やり等の世話を、その施設にお願いすることになるので、枯れてしまったり花がなくなってしまうりすることも想定し、追肥や土を加えたり作業も必要になり、携わっている会員の負担も、今後の課題である。

令和2年 3月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	公園美化整備事業
事業の実施前の状況	石橋公園を花や緑にあふれた公園にするよう 花壇の整備をしている
事業実施後の状況	引き続き、この事業で、公園に花を植えた
事業の効果	花壇も花であふれ、地域の公園として地区住民の憩いの場になってきている。
今後の課題等	春から夏にかけて毎日2回以上の水やりに、会員が時間をついやしている。今後もその負担は変わらず、負担減のためにも、人員確保も考慮したい。

令和2年 3月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	公園整備等事業
事業の実施前の状況	石橋公園を遊びの場、集合の場として活用されるよう整備している
事業実施後の状況	引き続き、この事業で、整備した
事業の効果	芝生の補充をし、清掃雑草除去して、美しい公園としてみんなで活用できる公園になった。
今後の課題等	芝生が定着するまでの管理が難しく、生育中の芝生の中にも立ち入ってしまうこともあるが、公園であるためあまり強要できないのも課題である。

令和2年 3月 31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	石橋公園整備事業
事業の実施前の状況	石橋公園が近年の集中豪雨のため、大きな溝ができていた
事業実施後の状況	溝を修復し、土を入れ、塩カルを撒いて土を硬くし、豪雨でも溝が掘れないように整備した。
事業の効果	子供たちが安全に走り回れるようになった。
今後の課題等	この作業も引き続き行わないとまた、掘れてしまう可能性もあり 今後も見守っていく必要がある。

令和2年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



記

事業の名称	交通安全モラル啓発事業
事業実施前の状況	自転車も軽車両であるという認識及び罰則も乏しく、標識の見方及び自転車の正しい操作方法等の知識不足且つ、賠償保険の重要性に無知である。
事業実施後の状況	本年度は新型コロナ感染拡大防止等により、行政指導に基づき、安全運転教室は中止とし、罰則含む安全運転法規啓蒙チラシ掲示のみへ変更とする。
事業の効果	新型コロナ感染拡大防止行政指導により、安全運転教室を中止とした為、安全運転に関し、守らなければいけない法規及び違反時の罰則について、知っていただく。
今後の課題等	子供達を中心に継続実施はするが、指導者であるご両親・おばあちゃん及びおじいちゃんへの指導及び注意が急務と思われる。他、保険への加入促進、並びに自転車の点検等地域の自転車店様のご協力の基、展開が必要である。今回のような異常事態が今後もありうることも想定しながら、臨機応変に対応が可能となる仕組み及び、運営方法の検討も考えつつ、日々の地道な地域住民の協力の基、自転車だけでなく、交通安全全般に全員で取り組む必要性あり。

様式第4号

2019年 10月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 松井 好一朝



記

事業の名称	三世代交流事業
事業実施前の状況	子ども会、PTA、地域の人（校区内にあるボランティア団体）は各々の活動で協働で活動する機会が少なく交友が少なかった。
事業実施後の状況	子ども達や若い保護者、地域の人達、高齢者住民が準備会議や事前準備、当日の運営を手助けする機会が増え顔馴染みになり、子ども達に住民の声掛けを容易にし、挨拶する光景が増えた。
事業の効果	交流事業の認知度が上がり多くの人から協力の申し出があり、多くの人に参加して頂き、美味しく、楽しく、可笑しく、参加者全員が楽しい時間が過ぎた、今後も継続的に開催して欲しいとの要望する声が多くある。
今後の課題	事業を9月実施して5年経過した。活動を支えて頂く方々は納涼大会（8月）、10月2回ある運動会の狭間で超多忙且つ天候の変化が気にかかり実施判断、材料購入等に思案することが難しく実施時期を検討要。 時間工程に中弛みに工夫したがより充実を図り、より家族ぐるみで参加出来る事業内容としたい。

以上